

# 町田市 情報システム導入方針

2.2版

Information System Introduction Policy

政策経営部デジタル戦略室

2026.04

# 1 経緯

2022年4月にスタートした市の基本構想・基本計画である「まちだ未来づくりビジョン2040」において、「2040なりたい未来」を実現する上で、特に分野横断的に取り組むべきテーマの1つとして「デジタル化による行政サービス改革」を掲げています。

この中で、市が進むべきデジタル化の方向性を、「デジタル技術を活用した市民サービスの向上、生産性の向上、新たな価値の創出」の3つの基本方針からなる、「町田市デジタル化総合戦略」として示しました。

# 2 目的

行政サービスを「人手のかかるサービスデザイン」から「デジタルベースのサービスデザイン」へ変革するため、情報システムやシステムサービスを導入するにあたっての方針を定めます。

# 3 留意事項

情報システムやシステムサービスの導入に向けた企画立案時において、3つの留意事項を踏まえることとします。

- (1) 国や他自治体の動向
- (2) 最新のデジタル技術の動向
- (3) ROI（費用対効果）(\*1)

# 4 導入方針

以下の4つの情報システム導入方針を踏まえて、情報システムやシステムサービスを導入します。

01

## 方針1：サービスデザインの変革

- (1) 生成AIを効果的に活用するサービスデザインとすること
- (2) デファクトスタンダード(\*2)を含む標準技術を採用すること
- (3) クラウド・バイ・デフォルト(\*3)原則を踏まえること
- (4) 標準準拠システム(\*4)、または、パッケージ形式を採用し、カスタマイズは行わないこと
- (5) 国や都が推進する広域化・共通化の仕組みを活用すること
- (6) バックヤード事務のフルデジタル化に向けて、BPR(\*5)を実施すること
- (7) 町田市オープンデータガイドライン(\*6)に対応し、マシンリーダブル(\*7)なデータを公開すること



02

## 方針2：市民サービスの変革

- (1) デジタル3原則（デジタルファースト、ワンスオンリー、コネクテッド・ワンストップ）(\*8)を踏まえること
- (2) マイナンバー制度やマイナポータルに対応すること



03

## 方針3：情報セキュリティの確保

- (1) 町田市情報セキュリティポリシー(\*9)に適合すること
- (2) 町田市生成AI利活用ガイドライン(\*10)を踏まえること



04

## 方針4：カーボンニュートラル(\*11)の推進

- (1) 「ゼロカーボンシティまちだ」(\*12)に貢献すること



## 【注釈】

### ○ (\*1) : ROI (Return On Investment)

費用対効果。投資利益率とも呼ばれる。  
投資に対する利益率を評価する指標のこと。

### ○ (\*2) : デファクトスタンダード (De Facto Standard)

公的な認証ではなく、競合他社との競争の結果、  
業界標準となった製品や規格のこと。

### ○ (\*3) : クラウド・バイ・デフォルト原則

情報システムの整備に当たっては、迅速かつ柔軟に進めるため、  
クラウドサービスの利用を第一候補として検討するとともに、  
共通的に必要とされる機能は共通部品として共用できるよう、  
機能ごとに細分化された部品を組み合わせる設計思想に基づいた  
整備を推進する、という考え方のこと。

### ○ (\*4) : 標準準拠システム

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、  
住民基本台帳や個人住民税などの 20 業務が情報システム標準化の  
対象となった。このことを踏まえ、国が策定する「標準化基準」に  
適合する情報システムのこと。

### ○ (\*5) : BPR (Business Process Reengineering)

既存の業務フロー、組織、情報システムなどを抜本的に見直すことで、  
業務を改革すること。

### ○ (\*6) : 町田市オープンデータガイドライン

市がオープンデータ利活用を推進するにあたり、  
基本的な考え方や取組の方向性を示したもの。

### ○ (\*7) : マシンリーダブル

人が手作業で入力し直さなくても、コンピュータがそのままデータ  
として処理しやすい、データの形式や構造のこと。マシンリーダブル  
であることは、オープンデータ化や、生成AIによるデータ分析など、  
データ利活用の推進につながる。

## 【注釈】

### ○ (\*8)：デジタル3原則

「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律（デジタル手続法）」において示された、行政のあらゆるサービスを最初から最後までデジタルで完結させるために不可欠な3つの原則のこと。

- ① デジタルファースト：個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結する
- ② ワンスオンリー：一度提出した情報は、二度提出することを不要とする
- ③ コネクテッド・ワンストップ：民間サービスを含め、複数の手続・サービスをワンストップで実現する。

### ○ (\*9)：町田市情報セキュリティポリシー

市が実施する、情報セキュリティ対策の方針や行動指針のことで、どのような情報資産を、どのような脅威から、どのように守るのかといった基本的な考え方や情報セキュリティを確保するための体制・対策などを示したもの。

### ○ (\*10)：町田市生成AI利活用ガイドライン

市が生成AIの利活用を推進するにあたり、効果的な活用方法や安全な利用方法を示したもの。

### ○ (\*11)：カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることで、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。2020年10月、国は2050年までに、カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。

### ○ (\*12)：ゼロカーボンシティまちだ

町田市の豊かな自然環境と次世代の暮らしを持続可能なものにするため、「2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロ」を目指す宣言のこと。

The background of the page is a vibrant, futuristic cityscape. The scene is dominated by a bright blue and white color palette. In the foreground, there are several modern buildings with large glass facades, some of which are illuminated with a blue glow. A prominent feature is a large, curved structure that resembles a digital interface or a data visualization, with various charts, graphs, and lines overlaid on it. The sky is filled with a dense network of glowing lines and points, suggesting a complex digital or data network. The overall atmosphere is one of high-tech innovation and digital connectivity.

東京都町田市  
デジタル戦略室

2026.04